



■■ 令和元年12月25日(水) ■■

～飲酒運転根絶へ。東署と合同街頭啓発を実施～

12月25日、イオン栄町店前などで飲酒運転根絶を呼びかける街頭キャンペーンを実施しました。参加したのは、栄東連合町内会の役員をはじめ東交通安全協会栄東支部、栄東地区の交通安全指導員、交通母の会の役員のほか北海道トラック協会の合計26名の皆さんです。

このキャンペーンは札幌方面東警察署との合同で実施したもので、冒頭、同署の小野寺一允交通第一課長の挨拶の後、5か所に分かれて啓発品を通行する方々に配布しながら、「信用も仕事も家族もなくす 飲酒運転 運転を根絶しましょう」「飲酒運転 誘いを断る勇気を持ちましょう」などと呼びかけていました。

飲酒運転は絶対に「しない!」「させない!」。そんな地域の強い思いを感じさせる合同キャンペーンでした。



■■ 令和2年1月8日(水) ■■

～笑顔あふれる「あそびのひろば」～



1月8日、日の丸会館大ホールで幼児や小中学生対象の「あそびのひろば」が開催されました。これは、部屋に閉じこもりがちな冬休みに「自分で工作して遊ぶ」をテーマに、昔ながらの手づくり遊びを楽しもうというイベントです。毎年、栄東地区青少年育成委員会が主催し、栄東連合町内会が後援して開催しています。

遊びのコーナーは、ペットボトルの「ボウリング」、牛乳パックで工作する「ブンブンごま」や「ぴよんピョンかえる」、動く工作の「六角かえし」、「パズルやめりえ」、「あやとり、お手玉に豆はこび」、「縁日」などが同会館ホールいっぱい設けられ、子どもたちは思い思いに各コーナーを回って昔遊びなどに興じていました。

この日参加されたお子さんたち(同伴の保護者などを含む)は119名で、「今も昔も変わらない楽しさを子どもに教えたい」という青少年育成委員の皆さんの熱い思いが子どもたちのいっぱいの笑顔に結実されていました。

■■ 令和2年1月14日（火） ■■

～華やかに楽しく、栄東連町新年交礼会～



栄東連合町内会の新年交礼会が1月14日、日の丸会館で開催されました。地区内の町内会、関係団体の役員や行政機関関係者138名が出席して新年を祝いました。

開会にあたって永淵宏・同連合町内会長が挨拶。「今年は、年度末に策定する地域まちづくりビジョンを指針に関係機関が連携協力してより安全安心に暮らせるまちづくりを進めたい」との抱負を述べられました。

また、来賓代表の佐々木康之区長からは、雪まつりウエルカム事業、ひのまるちびっ子なつまつりなどへの評価とともに「東区も地域と一体となって、声かけあい、支えあう、安心安全なまちづくりを進めたい」との挨拶がありました。

参加者は日ごろから協力してまちづくりを進めている方々です。新年の挨拶を交わしながら、楽しく歓談して絆を深めました。余興では、歌が自慢の方々が登場して宴を盛り上げていました。最後は、陸上自衛隊丘珠駐屯地の廣瀬敏彦指令の音頭で万歳三唱で華やかなひとときを閉幕しました。



■■ 令和2年1月15日（水） ■■

～地域と企業の連携で雪まつりウエルカム事業を成功へ～



栄東地区の冬の風物詩、雪まつりウエルカム事業が本格化します。1月15日、栄東地区子ども未来会議による元気プロジェクト実行委員会（出光唯夫実行委員長）の雪まつり事業部会が日の丸会館で開催され、雪像制作や観光客の歓迎事業の実施計画が承認され、準備の役割分担などを決定しました。

同事業は、さっぽろ雪まつり「つど一む会場」の開催地として、来場する市民や国内外の観光客に対して「おもてなし」の心でお迎えし、誰もが参加しやすいイベントを開催し、栄東地区の賑わいを創出することを目的に平成21年から実施しています。今回も第71回さっぽろ雪まつりのつど一む会場に「招き猫」と「ピカチュウ」の中雪像2基と地元の栄町小3年生による小雪だるま100体程度を制作し、雪だるまの一部は東栄病院前の第2会場にも設置してさっぽろ雪まつりを盛り上げます。また、地下鉄栄町駅構内で会期中（1月31日～2月11日）に歓迎の横断幕を掲示しながら、来場者の案内を実施します。

今年の雪像は、参加者の高齢化などを考慮して、制作に時間を要する「雪だるまひな壇」は1月27日に東区緑化協力会にご協力いただき制作し、町内会、青少年育成委員会や小学生などが参加する28日、29日の両日で完成させる計画です。この雪像はつど一む会場の一番人気の撮影スポットとなり、昨年も歴代1番の80万3千人の来場者に貢献しています。今年も諸先輩が手作りで築き上げてきた「冬の風物詩」を継承するため、地域と企業がスクラムを組んで、雪まつり事業を成功させてまいります。